



普通科通信

H23年
6月号



今年のフロンティア事業のテーマは「福高スクラムⅡ」周囲の皆様の協力を得てさらに前進します。

普通科「学び」の一場面を紹介

自分の「みらい」に向かって確かな目標を！ 「志望理由書」講演会

「志望理由書」は、主に大学のAO入試や推薦入試、就職試験で面接と併せて用いられる選抜方法です。3年生の今この時期にじっくりと自分の進路についてもう一度考え、目標を明確にすることはとても大切です。進学校の多くは現在、志望理由書を3年生で書くことに取り組む傾向にあります。本校においても、この時期に自分をもう一度見つめ直すと共に、受験校についてしっかりと調べたり、大学卒業後の進路まで見通した進路選択となっているかを考える最後の機会として、学研教育みらいの岡田眞奈美氏をお招きし、「熱き思いを伝える志望理由書の書き方」という演題で講演会を実施しました。

- ・将来こんな職業に就きたい、大学でこんなことを学びたいと思ったきっかけ
- ・そのことが社会でどのように生かされるのか。
- ・最も志望に叶うのがこの大学であるという理由

これらの点についてよく調べ自分をしっかりと見つめることが大切だ、という内容でした。志望理由書を書く上でのテクニックだけでなく、真剣に自分の気持ちに向き合うこと、志望大学について調べ、訪問し、後悔しない進路選択をすることの重要性を教えてくださいました。



普通科の新入試システムについて ～中丹通学圏府立高等学校説明会～

新聞紙上等で御存じのとおり、京都府教育委員会は、教育課程編成に係る学校の裁量の幅を拡大し、生徒1人1人が能力・適性・進路希望等に応じて教科・科目を柔軟に選択できるように、南部地域で平成23年度入試から普通科の類・類型を廃止しました。中丹通学圏においても平成24年度から普通科に類・類型がなくなります。そして、各高校はそれぞれが学力の向上を目指し、新しい教育システムを考案しました。



現在中学3年生の皆さんやその御家族、中学校の先生方に各校の新しい教育システムを正しく理解し、安心して受検していただくことを目的に、5月28日福知山市厚生会館を皮切りとして、綾部市、舞鶴市で説明会を開催し、多くの中学生、保護者の皆様、先生方におができました。

今後、中学校体験セミナーや普通科説明会等により、より一層御理解いただけるよう努めて参ります。なお、本校の取組紹介や説明会等の日程につきましては、今年度の学校案内(右)を各中学校にお配りしましたので、御覧ください。



取組紹介みらいの窓

福高作文
～志望理由書講演会～

3年4組 上野高士 くん (福知山市立日新中学校出身)

今日はお忙しい中講演をしていただき、ありがとうございました。将来必ず書くであろう志望理由書の書き方のポイントを教えていただき、大変参考になりました。

僕は、志望理由書に対して苦手なイメージしかありませんでした。よく、志望動機書の手本のような例を読むと、決まってその学部に見合っている動機について書かれています。それを読んだ後、「僕にはこんな都合のいい動機は持ち合わせていない。このようには書けない。」と書いていました。しかし、先生の楽しくて熱意のこもった講演を聞いて、志望理由書に対するイメージが大変大きく変わりました。動機というものは、ほんの小さなことでいい。その動機によって自分がどのように考え、行動するかによって魅力的な動機に変わるのだと思いました。

僕は一般入試で大学に進学することを考えています。従って、大学受験では志望理由書を書くことはないかもしれませんが、就職活動では必ず書くので、それが何年後になるかはわかりませんが、その時に先生が教えてくださいましたことを活かしたいです。そのためにも、今自分が進学を考えている大学について調べ、志望理由書を書くとしたらどのように書くのかを“予行演習”として、またもう一度、その大学について調べてみることによって、本当にこの大学でいいのかを再考してみたいと思います。

すばらしいご講演をありがとうございました。



3年5組 塩見愛 さん (福知山市立桃映中学校出身)

今回はお忙しい中、私たち3年生に講演をしてくださってありがとうございました。高校生活もとうとう最後の1年となり、受験生として日々を過ごす私たちにとって、とても大切な話を聞いたことを嬉しく思っています。

私は普段、自分の長所を実感することがほとんどありません。あったとしても、趣味の方向に偏っているので、志望理由書のような進学に関わる文章には使えないなと思ってしまいます。しかし、今回の講演で、その長所を進学やそれ以外の勉強でも活かせるのではないかと考えました。私は、文系の学部に進みたいと考えています。自分の長所と日本語学という学びたい分野を結びつけることができれば、なぜ私とその学部を志望するのかということを明確に主張できると思います。自分をもう一度見つめ直し、「なぜ」や「どのように」を大切に、自分を分析することの必要性を強く感じました。



また、志望理由書には具体的な体験談が必要だと聞いて、中学生の頃から言われ続けてきたことの意味をようやく知った気がしました。先生や親に言われた「いろいろな体験をきなさい」という言葉は、こういうところでその体験が役に立つということだったのかもしれない。当然、これは社会経験のためだったとは思いますが、この体験をすることで進学時に役立つのならそれも良かったです。

今後、大学進学に向けて自分を再確認するよいきっかけとなりました。本当にありがとうございました。